



ごあいさつ

3月20日からの第88回高校野球大会。苦しい練習をし甲子園まできた自信に満ちた入場行進は、いつ見ても胸をうたれます。

地元神戸からは21世紀枠で長田高校が初出場です。21年前の阪神淡路大震災の時はこの世にいなかった球児たち。しかし彼らの両親は震災で家をなくしたり、仕事を失ったりと、途方にくれていたかもしれません。球児たちの存在がこの21年間、大きな希望になったことだと思います。

一方、岩手県からは釜石高校が出場しています。甲

子園で元気にプレーすることが東北の被災地の皆さんを勇気づけることと思います。高校野球の純粋で真面目な姿にエールを送りたいものです。

覚せい剤で逮捕された清原和博元選手は高校野球で名をはせ、鳴り物入りで西武ライオンズに入団。いつの間にか乱れた生活。スポーツから本当の強さや謙虚さを学べなかつた人でした。高校野球で汗と涙を流しプレーしている球児たちは「本当の強さ」を忘れず社会に出ても頑張ってほしいものです。

2016年神戸市予算

“三宮一極集中”で 市民サービス切り捨てを推進 市民のくらしあたためる市政に



質疑する松本のり子議員

久元市長は、予算編成にあたって、「都心の再生や公共交通網の整備、神戸港・神戸空港、医療産業都市のプロジェクトを重点的に展開」するとして、三宮駅周辺とウォーターフロント再整備に合わせて94億円、さらなる巨大港湾づくりに104億

円、神戸空港の赤字補てんなど推進費に32億円、医療産業都市構想の推進に42億円を計上。アベノミクスの「成長戦略」を本格展開する予算といえます。

今後、公立幼稚園の13園廃止や、公立保育所の再編。小学校調理員や斎場・墓園、高齢者や障害者福祉施設の民営化。市税減免の廃止や水道料金の見直し検討などが打ち出されています。

4年連続の黒字などでためこんだ財政調整基金は128億円にのぼっています。財政が「改善」したのなら、いまこそ市民生活を直接応援する施策をすべきです。

みなと総局審査 港まち神戸を活かした街づくりを ウォーターフロント整備として71億円 元川西倉庫・みなとクリニック跡地の買い取り

新たな土地を取得して住宅商業施設を作る必要はない。ウォーターフロント整備は旧居留地にいくつもある国登録有形文化財の建造物や町並み、例えば京橋の船溜り、メリケン地蔵（海に落ち亡くなった水上生活者の子どものためのお地蔵さん）、乙仲通りなどを活かす取り組みをすれば十分観光地としての魅力を引き出すことができると質問しました。局長は何もしないでは衰退すると答弁しました。



元川西倉庫の跡地。ここを商業施設にするため購入。